

平成29年度第3回八幡地域協議会会議録（HP版）

日 時 平成29年12月15日（金）午後1時30分～午後3時06分

場 所 センター 第3・第4会議室

出席者（13名）

1号委員 佐藤政義 相蘇照子 池田満好 本多秀之 後藤正一
遠田秀明 小松久美子 佐藤康晴 丸藤祐一 小松幸雄

2号委員 阿部喜至夫 高橋知美

3号委員 池田香

欠席委員 石川正志

政策推進課：地域医療政策主幹 池田恒弥 地域医療政策主査 小田雅之

八幡病院： 事務長 土井義孝

八幡総合支所：支所長（兼）地域振興課長 後藤啓、建設産業課長 伊藤将人
建設産業課長補佐 村上秀俊、建設産業課長補佐 土田正人
地域振興課長補佐 小松原毅、地域振興課長補佐 村上祐美
地域振興課主査 鳴瀬勉

傍聴者： なし

議事日程

- 1 開会
- 2 会議録署名委員の指名（本多秀之委員）
- 3 会長あいさつ
- 4 協議
 - （1）八幡地域ビジョンについて
 - （2）市立八幡病院の診療体制等について
- 5 報告
 - （1）平成29年度酒田市除雪事業計画について
- 6 その他
 - （1）ぐるっとバスについて
- 7 閉会

【協議の概略及びその結果】

今年度の第3回目となる地域協議会は、平成12年に成立した「過疎地域自立促進特別措置法」が平成33年3月まで延長されたのに伴い、平成23年に策定された現在の八幡ビジョンの変更及び市立八幡病院の診療体制等の内容等を協議する場となった。地域ビジョンに

については、次回の第4回目の協議会までに全戸配布用の概要版を作成することとした。

また、議長より、2つの提案があり、ジオパーク認定後の具体的な動きが見えないため、今後、市へ働きかけの必要性と「若い人達を地域の活動に多く参加させるにはどうしたら良いか」を皆で考え、意見交換する必要があるとの提案があった。

1 開会

○高橋知美副会長 本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

これより、平成29年度の第3回目の地域協議会を開催します。本日、都合により欠席の委員は、石川正志委員の1名です。

2 会議録署名委員の指名

○高橋副会長 次に次第の2、会議録署名委員の指名を行います。番号順ということになっていますので、今回は、4番の本多秀之委員にお願いしたいと思います。本多委員、よろしくをお願いします。

○本多秀之委員 わかりました。

3 会長あいさつ

○高橋副会長 それでは、会議次第に従いまして、池田会長からのあいさつをお願いします。

○池田満好会長 皆様、本日は師走の何かとご多忙中のところ御出席いただきありがとうございます。現在、市では新しい酒田市総合計画の策定や、酒田市議会議員選挙が行われ、新しい議員も誕生しました。八幡の三議員はそれぞれ違う会派に所属している訳ですが、地域を良くするために、毛利元就の教えのように一本の矢になって3人で協力し合って物事を進めていただきたいと、八幡の自治会からも強いお願いをしています。今後も議員さんと共に、我々も地域のいろいろな問題に取り組んで行きたいと考えていますので皆さんご協力よろしくをお願いします。

○高橋副会長 それでは、これより協議に入ります。会長が議長となり進めていただきます。

4 協議

○池田議長 それでは、最初に次第4の協議に入りますが、概ね、1時間半ぐらいの意見交換と考えておりますので、出来るだけ端的に要領の良い質問と答弁をお願いします。それでは、最初に、協議事項の1番、「八幡地域ビジョン」について、事務局から説明をお願いしますが、事前に資料が配布されている訳であり、大きな変更点や特に説明すべき点等で結構かと思っておりますので、要領良い説明をお願いします。

○後藤啓八幡総合支所長

～八幡地域ビジョンの変更（案）について～

（第1章）地域ビジョン策定の背景と目的

（第2章）八幡地域の現状と課題・魅力

（第3章）八幡の地域づくりに向けて を資料1・資料2・資料2-1を基に説明。

○池田議長 現在のビジョンと比べて、大きな変更点は何か。

○後藤支所長 統計的な数字や「鳥海山・飛島ジオパーク」、「八幡地域おこし協力隊」及び「大沢地区地域づくりモデル事業」の項目が増えた点があります。

○池田議長 ただ今、事務局から説明がありましたが、質問等があればお願いします。

○池田香委員 森林関係は10年、20年先を見据えて継続的に効果的な施策を実施してもらいたい。また、高齢者世帯が増えており年金生活者の生活も年金だけでは生活できないと聞くので、福祉部門も継続的な支援をお願いしたい。それと、地域おこし協力隊が活動している日向地区などは地域のコミュニティが活発だが、他の地区にも協力隊の活動内容の情報を流してもらいたい。

○池田議長 ただ今の件は、森林整備の問題、年金生活者の問題と地域おこし協力隊がいないうちや観音寺地区にも情報を流してもらいたいとのことですが、事務局から説明願います。

○伊藤課長 森林整備の件は「モリノミクス」の制度を使った補助がある。地元産材を使ってもらうのが最良だが、材料や価格でなかなか難しい面があるという。今後も地元産材の消費につなげられるように現在の森林整備計画でも計画している。

○後藤支所長 福祉関係については、今までの事業を継続して拡充していきたい。協力隊の活動については、「月刊 協力隊だより」といった広報紙があり各地区全戸配布をしている。

活動内容は、協力隊が独自に企画したイベントで「子育てランチ」等を行っており、日向地区以外からの参加もあり好評をいただいている。

○池田議長 他にございますか。

○佐藤政義委員 協力隊の関連で、この間、テレビで川西町の協力隊が出ていたが、国の補助事業で任期が3年間で、任期が終了しても地域にいろいろな形で関わっており、川西町の場合は十数名いるとのことだった。一方、八幡の場合は任期が終わっても定住する可能性はあるのか。

○後藤支所長 現在、日向地区に2人の協力隊がいるが、そのうちの1人は今年度で3年の任期を終了する。終了後も地域に定住して起業等してもらえれば理想的だが、今のところ定住までは行かない見込みである。川西町のケースみたいに特別な職業に就く場合もあるが、本人の意向もあり、現在のところ、定住は難しい。もう一人の方は、あと1年任期があるが、その方は旅行の企画等の面でやればとの話を聞いている。

○佐藤政義委員 酒田市全体で協力隊は何人いるのか。

○後藤支所長 八幡の2人と平田、松山、飛島に1人ずつで計5人です。

○高橋副会長 協力隊の広報紙を見るが、「日向でそういうことをやっているのか」で終わってしまい、それ以上の広がりがない感じがする。もう少し他の地区とのつながりというもの、うまくできないものかと思う。

○後藤支所長 基本的に日向地区の活性化を目的に配置しており、どうしても日向地区がメインになってしまうのが現状である。できれば、八幡地域全体に広がれば一番良いが例えば、遊佐町の協力隊だと分野別に担当し全地域を見ており、将来的にはそういった方法も有り得るだろう。

○高橋副会長 各地域の協力隊同士が集まって合同のイベントを行っていたが、例えば、観音寺コミセンの行事に協力隊が入って一緒にやる形を年1回でもやってもらえれば、日向地域以外の人達も協力隊の活動が身近に感じ、理解も深まるのではないかと。日向地域がメインになっているのはわかるが、他の地区の人達は「協力隊って何をやっているの」となっては困るだろう。

○池田議長 他にございますか。

- 佐藤政義委員 道路関係の資料に「安田バイパスの早期着工」とあるが、既に着工しているのではないか。
- 伊藤課長 こちらの見方としては、着工というのはある程度の工事になった場合に着工という訳で、事業に着手してはいるが工事には入っていないので、「早期着工」といった文面にさせていただいた。現場は現在、史跡があるということで史跡調査に入っており、若干遅れている。
- 佐藤政義委員 平成29年度で全ての買収は無理ということか。
- 伊藤課長 一部ということで聞いている。
- 佐藤政義委員 予算がなくて買収できないのか、他に原因はあるのか。
- 伊藤課長 詳細はわからないが、今年の春先では話し合いはついたと聞いたので、史跡調査等が影響していると思われる。
- 佐藤政義委員 実際、着手はしている訳なので、資料の文面の「早期着工」よりも「早期完成」のほうが良いのではないか。
- 伊藤課長 わかりました。そのように修正します。
- 池田議長 バイパスの関連道路で上野曾根の上田診療所前の道路は「安田砂越停車場線」ということで、安田バイパスの完成を見据えた道路になっている。
- 池田議長 小松幸雄委員、地元に入っている協力隊の関係で何か補足すること等ありませんか。
- 小松幸雄委員 先ほど支所長が述べたとおり、来年度から日向地区と大沢地区に1人ずつと聞いている。それとは別に、道路の整備の関係で、国・県・市道の側溝に落ち葉等が詰まって側溝が流れないことが多数見受けられる。随時、パトロール車も走っているが、市にはどのような状況で報告されているのか。
- 伊藤課長 側溝の詰まりを発見したらこちらへ教えていただきたい。道路延長によってすぐ出来るケースと時間とお金がかかるものがあるが、相談させていただきながら側溝上げをして行きたい。また、空き家の庭の杉の木が道路にはみ出して除雪車のパトランプが接触し壊れたことがあり、土地の所有者に枝木の伐採をお願いしているが、所有者不明や対応しないケースの簡単なものはこちらで対応している。
- 小松幸雄委員 市道の場合、大台野牧場から升田までと升田から上草津まで及び升田青沢線は落ち葉の時期になると、水が溢れ道路に流れ出ているので、細かい部分へも対応をお

願いたい。

○伊藤課長 昨年度に大台野線の一部は底上げを実施したが、延長が長く届いていない部分がある。

○池田議長 大沢地区のモデル事業の状況はいかがか。

○遠田秀明委員 川西町の特定非営利活動法人「きらり よしじまネットワーク」は平成19年4月に立ち上げて、同じような事業が県内に6箇所ある。

○後藤正一委員 大沢モデル事業の関係では、4回ほど会合を開催し、ある程度の土台作りまでは達している。これからは、地元住民が集まって意見交換して進めて行く予定である。

○池田議長 地域的に少しは変わってきているか。

○後藤委員 意気込みとして「やらなければならない」とは感じているので、今後、住民全体に集会に参加するように呼びかけたい。

○池田議長 他に何かございますか。

○阿部喜至夫委員 2点お聞きしたい。一つ目が「ジオパークの効果的な拠点づくり」とあるが、「たわわ」の組合員からも「ジオパークの関係で、たわわも関連したことは出来ないのか」等と聞かれる。今後予定されている具体的なものがあればお聞かせ願いたい。もう1点が、認知症や、いわゆる「まだら」症状を疑われる人が結構、自動車を運転しており、登校の列に車が突っ込んだといった事故がニュースに出てくる。そういった人達を医療と地域が連携して、事故が起きる前に何らかの手立てが行政として出来ないものかと感じる。行政だけでは難しいと思うが、何か働きかけが必要ではないか。

○後藤支所長 ジオパークの関係では、「たわわ」のトイレの件でこれまで市長に提言をしてきた経緯があるが、それと一体的な整備として、ジオパークのビジターセンター的なものを付随させて「たわわ」を支援する案や、あるいは「道の駅」的なもの等、様々な情報を各方面からもらって現在検討している。

認知症の人の件では、市が独自で規制は出来ないので、民生委員や自治会長、包括支援センター等から情報をいただき事故が起きないようにお願いをするしかない。

○池田香委員 各地域の民生委員は、ある程度、認知症の人の情報は持っているが、プライバシーの問題があり、他の地域の委員と情報の共有はなかなか出来ないし、認知症の人の近所にも言えない。家族の相談先としては、幸楽荘の中に包括支援センターがあり、担当

の職員もいるので、そこに申込みする方法がある。免許返納等は最終的には、家族の理解が必要となる。

○池田議長 70数歳になるまで、これまで安全運転で無事故で来た人が、万が一、事故を起こすと家族まで泣かなければならなくなる。一方で、家族が説得して免許返納しても、隠れて乗っているケースも聞こえてくる。そうした場合、家族やまわりの人達から本人に強く叱責してもらいたい。

○後藤委員 大蔵地区で、平成31年度よりテレビの共同アンテナ工事が始まるが、受信施設を共有化することで設備に係る工事費を削減しようと、青沢地区と相談して、青沢地区の受信施設を利用して大蔵地区に光ケーブルを引くことで話を進めている。工事についてはNHKと相談しているが、日向地区にも共同アンテナの組合が幾らかあると聞いており、これからも共同アンテナ工事の地区が出てきたら、参考にしてはと思う。

○池田議長 日向地区はまだ工事はやっていないのか。

○小松幸雄委員 私の知る限りでは、上草津・下草津・上黒川・下黒川・升田が共同アンテナだったと思う。鶴岡にあるNHKの大きなアンテナみたいなものを一箇所に立てれば、経費がかかる共同アンテナは必要ないのではないか。

○後藤委員 これから、升田地区でも光ケーブル化の工事が入るとのことであり、常禅寺地区の画面の映り具合が悪いということで協力できないかとの意見も出ている。

○池田議長 数が増えると、それだけ負担金が少なくなるメリットがある。

○後藤委員 一方でNHKの計画通り進めなければならない面もある。

○池田議長 法的な補助金はないということだ。

○小松幸雄委員 NHKは受信料を徴収している立場上、工事が出来るとか、出来ないとかは言えないだろう。

○相蘇照子委員 受信料が義務的だとしても、市街地だと払わない人が多いと聞く。NHKも電気料金みたいにメーターを付ければ不公平感はなくなると思われる。

○池田議長 ちゃんと払っているこのあたりの地域と違い、市街地のアパート等は未払いが多いと聞く。「NHKなど見ない」と言って訪れた人を追い返している。

○小松幸雄委員 NHKも民放みたいにCMを放送して広告料を業界から徴収し、もっと受信料を軽減したほうが良い。

○池田議長　しかし、民放で1時間のドラマを見ても、CMが多すぎて実質のドラマの放映時間が少なく、ストーリーが繋がらない時もある。

○池田議長　他にございますか。

○小松幸雄委員　八幡の観光の魅力として「旅行村や鳥海山荘、鳥海高原一帯の風景」と資料に載っているが、今後どのように進めていくのか。

○伊藤課長　県道沿いの草刈りも年2回程度しかやっていないが、最近では牧場で道路端の樹木を取り除いていた。やはり、道路から牧場が見えないと牧場らしくないという意見もあり、今後は牧草を植えて牛に食べさせて健康な牛にさせるといったこと等、出来ることから計画作りをやって行きたい。

登山道についても、草刈り等できるところからして行きたい。

○小松久美子委員　資料に鳥海南麓地域の件が載っているが、9月末の台風の際に泥沢地内で倒木があり、自治会長から「南麓を回れば」と言われて行った際、2箇所倒木があり通れなくて総合支所に電話したところ、「南麓はどここの管轄ですか」と言われた。せっかくビジョンに南麓地域が出ているのに、総合支所の人が「どここの管轄ですか」となってはビジョンも絵に描いた餅でしかない。せめて総合支所の中だけでもビジョンを職員に周知して生きたビジョンにしていきたい。

○伊藤課長　南麓の対応については申し訳ございませんでした。南麓の道路は市の管理であり、倒木の件は、当日は風が強くて翌日に処理した。

○佐藤康晴委員　今後、想定される事業として、「八幡地区水田畑化基盤強化対策事業」が載っている。これは今年度で終わるのと思ったが、また新たな事業があるのか。

○伊藤課長　国の予算の付き方次第で、若干、伸び幅があるものと思っているが、手上げは全部終わっている。追加募集があるのかはわからないが、これまで手をあげてもらった所はある程度入っている。

○佐藤康晴委員　遅れたから延長するということか。

○伊藤課長　それもあります。

○佐藤政義委員「農地整備事業 日向中部地区」は日向の下黒川地区を再整備するということか。

○伊藤課長　赤剥の一部と下黒川及び新出の一部の圃場整備が採択されて、現在、測量ということで計画を組んでいる。

- 佐藤政義委員 地元負担、農家負担は何%か。
- 伊藤課長 工事費に関しては農家負担はゼロだが、測量経費は地元負担となる。
- 池田議長 他にございますか。
- 後藤委員 8月25日に避難警報が出て幸い何もなかったが、注意を促す意味でも警報を出してもらって良かった。
- 池田議長 ミサイルのアラーム警報で「丈夫な建物に避難して下さい」と言われても、木造の建物ばかりで逃げようがないのが現状である。
他にございますか。
- 高橋副会長 資料に「林業のマンパワーが減少」とあるが、現在、「みどり環境税」というのがあり、それを使って森林整備をしている所がある。八幡地区では地域全体で行うような活動が見えなく、今後、どのように八幡の森林の整備をして行くのかお聞きしたい。
- 伊藤課長 森林整備については、確かにPR不足の面があり、山林と違い特に里山の森林の場合、何のメニューがあるのかとなる。この間、升田の御嶽神社の参道の桜が病気にかかっているということで、結果は出ていないが、「みどり環境税」が使えるのではと聞いている。環境税の内容は県のホームページで調べる方法もあるが、メニューがあれば、情報収集しながら関係団体等と連携を図りたい。
- 高橋副会長 「みどり環境税」の申込みは、まだ来年2月の初旬まで出来る。それと、みどり環境税を使った事業の報告会を開いて参加していただき、どこの地域でどのようなことをやっているのか見てもらえば、八幡地域全体で活動出来ることは多いと思われる。是非、使えるものは有効に使って地域の皆さんのパワーを広げて、地域活性化につなげていただきたい。ちなみに八幡小学校ではそういった活動をしており、子ども達にも地元の自然が浸透しつつある。
- 池田議長 地域ビジョンの細部については、来年の3月までには詳細な事業的なものも出て来ると思われ、事務局でも今日の結果を踏まえて、作成をお取り計らい願います。
次に協議の2番の「市立八幡病院の診療体制等について」事務局から説明願います。
- 土井義孝八幡病院事務長
～資料3「市立八幡病院の診療体制等について」を基に説明～
◇平成30年1月4日から平成30年3月31日までの診療体制

- ・平日に夜間の延長診療を実施（～19：00）
- ・土曜診療を実施（8：30～17：15）
- ・病院間無料シャトルバスの運行について

○池田議長 ただ今の説明を聞いて何かございますか。

○本多秀之委員 シャトルバスの利用の関係で、利用出来る人の範囲で「高度な検査等が必要なため日本海総合病院に紹介された患者」等とあるが、検査後の継続的な通院にも利用することが出来るのか。

○池田恒弥地域医療政策主幹 自分で日本海病院に行けない人で、検査後も引き続き通院が必要な場合は利用できます。

○小松久美子委員 日本海病院の見舞い時間は午後1時から午後8時となっているが、日本海病院からの最終便が午後3時半頃であり、これに乗れない場合は自分で工面するしかないのか。

○池田主幹 その通りで、まずは1月からこの時間で走らせていただき、その間、様々な意見が出て来ると思われ、そういった意見を踏まえた病院機構との話し合いにより、4月以降に時間変更の可能性も有り得る。

○佐藤政義委員 入院患者はいつまで受入れするのか、もうしていないのか。

○土井事務長 今日現在、9名の方が入院しており、12月28日で全員退院できるように持って行きたい。入院の受入れは、短期間での退院が見込まれる人は入院可能であるが、12月28日まで全員退院する方向で進めている。

○佐藤政義委員 市では退院の際、他の病院や施設を紹介するのか。それとも家族にまかせているのか。

○土井事務長 退院後については、家族と病院と協議しながら決定している。

○小松久美子委員 他の病院が診療していない時間に診療して、時間外診療にはならないか。午後6時半まで行けば時間外にならないということか。

○土井事務長 午後6時半まで受け付けすれば良いということです。

○池田議長 他にございませんか。

○佐藤康晴委員 シャトルバスは当日、時間までに病院に行けば、予約もいらず乗れるということか。

○池田主幹 その通りで、時間に間に合うようにおいでいただければ、乗れる数は限られて

いるが、先着順で乗車できる。「診療科はどこですか」といった確認はしない。

○小松幸雄委員 シャトルバスの運行時間の件で、片道25分を見ているが、それで可能な
のか。

○池田主幹 どこにも寄らず直行で、最短コースを実際に計測した時間で見ているが、積雪
等のケースで若干遅れることもあるかも知れない。

5 報告

○池田議長 次に、報告という形で「平成29年度酒田市除雪事業計画」の説明をお願いします。
ます。

○伊藤課長

～資料4「平成29年度酒田市除雪事業計画」を基に説明～

- ・積雪深が30cm以上で除雪対策本部、45cm以上で豪雪対策本部を設置。
- ・八幡は222路線、87.2kmを8社に委託。
- ・雪捨て場は斎場南側（麓字緑沢地内）→昨年度と同様
- ・福祉課との連携により、支援が必要と認められた高齢者及び障がい者については、間口の寄雪処理を実施する。
- ・市民への協力依頼として、道路への雪出し禁止や路上駐車禁止等
- ・市道でない生活道路を除雪する場合、補助金制度や小型除雪機械購入補助制度があり。

○池田議長 この件は、この前、自治会長を集めて各路線ごとの細かい説明があった。皆さんから説明を聞いて何かありますか。

○遠田委員 除雪体制で、何センチ以上積もれば除雪の対象になるのか。

○伊藤課長 積雪量が10cm以上となっている。

○遠田委員 仮に、青沢地区20cmとして他の所が10cm以下の場合、除雪はどうするのか。

○伊藤課長 規定では、市道は10cm以上、県道が5cm以上、国道が3cm以上となっている。

10cm未満でも吹き溜まり等があれば、状況を見て除雪をしている。委託業者は地域のベテランで事情に詳しく、業者のオペレーターが適宜に判断している。

○高橋副会長 雪捨て場の指定地のあたりは「緑沼」といって八幡町時代に「貴重な植物を集めて沼を管理しよう」とやっていた。そこにも雪が捨てられると聞いたが、貴重な植物を埋めている状況では影響が考えられるので、雪捨て場の正確な場所をお聞きしたい。

- 伊藤課長 雪捨て場については、市有地でそれ以外には捨てないと思うが、捨てる人が市有地がわかるように目印を立てるのも一つの方法である。
- 高橋副会長 八幡町時代に、自然保存活動団体が町と協力して沼を管理したと聞いた。
- 伊藤課長 その場所に雪を捨てないように、指定された場所に捨てるよう指導を図りたい。
- 小松幸雄委員 ジオパークに認定されたが、鳥海山の奥山林道が走破できない状態になっているので復旧をお願いしたい。
- 池田議長 そこは県の林道で造ったが、管理は森林管理署である。実際、自分が携わった工事であり、女郎沢に掛けた橋も、最初は女郎橋と名称を付けようとしたが、県の担当者の名前を取った名称になった経緯がある。
- 伊藤課長 奥山林道の件については、昨年の秋、鶴岡の森林管理署の職員と一緒に立ち会った際、だいぶ土砂が流されて穴が開いており復旧方法を悩んでいた。バイクは通れるが四輪車は無理である。森林管理署でも優先度を上げてお願いするとのことだったので、もう少し待ってもらいたい。
- 小松幸雄委員 その現場50m位先が市道である。
- 伊藤課長 市で管理している林道となります。

6 その他

- 池田議長 次にその他ですが何かございますか。
- 伊藤課長 ぐるっとバスについて、先程、日本海病院のシャトルバスの件が出たが、日向・大沢地区からは、「市条のスーパー薬局までバスが行けないか」との要望がある。そういったことを含めて今回「ぐるっとバス検討委員会」を立ち上げ、これまで3回程会議を開き、その結果を踏まえた原案を市の交通会議にかけている。それで了承されれば、来年4月1日から要望通りの運行になる。次回の地域協議会の際は、変更されたダイヤを示すことができると思われる。
- 池田議長 他に何かございませんか。
- 池田議長 ジオパークに認定されたが、その後の具体的な動きが全く見えてこないのが実感である。そろそろ、拠点的なものとか具体的な動きが見えてきて良い時期になってきているので、皆で考えて、動かすべき所は動かすなりのことをしなければならぬと考えている。それから、この資料を見ると、これから先の人口減少予測や、高齢化が出ている

が、実際、様々なコミュニティの行事等、何をやっても若者がなかなか集まらないというのが各地域の現状であり悩みでもある。働いている人は、平日は仕事を持ち、「疲れて、日曜日くらいは休みたい」となり、地域行事への参加が少ないのは各地域共通の課題であり、それでは「若者が出やすくするにはどうしたら良いのか」を真剣に取り組む時期に来ている。保育園から高校生まで多く参加してもらって、その家族がついてくるような様々なイベントをやらないと地域が寂れていく一方である。その辺を次回の課題にしながら、皆で地域を盛り上げられるような方向にしなければならない。これからもよろしくご協力願いたいと思います。

○池田香委員 一つの情報だが、平田の砂越に移住者用の無料で泊まれる体験施設がある。7泊8日、年4回まで泊まれる一戸建ての家だが、その情報がなかなか浸透していない。来年の3月いっぱいまで終了するらしく、例えば、都会から地方への定住を考えている人が「酒田市ってどんな所だろう」と申請すると泊まれるらしい。

○池田主幹 それは政策推進課の担当で、その建物は元の医師住宅を移住希望者の体験用として使っている。今年は若干の利用があったようで、来年も継続して行く予定であり、皆さんからもPRしていただければ効果的な利用につながって行くのでよろしくお願いしたい。

○小松幸雄委員 今、砂越の無料体験のケースが出たが、日向の升田地区の「滝の里ふれあい館」をそのような使い方はできないものか。

○池田主幹 いろいろな縛りのある施設で簡単には行かないかも知れないが、そういったご意見があったということは伝えたい。

○小松幸雄委員 「縛り」というものは、これは神様が造った施設ではなく、法律も人間が作ったものであり、緩めるところは緩めて、締めるところは締めて有効活用をしていただきたい。

○佐藤康晴委員 合併特例債が5年間の延長の方向へ協議ということで、今日のニュースでやっていた。これが最後のチャンスかもしれないので、地域により有効に活用できるような施策を考えていただきたい。

○小松幸雄委員 つい最近の会議で、酒田市より「施策というものはお願いするのではなく、自分たちで考えて持ってきてもらいたい」と言われた。

○高橋副会長 先程の移住したい人の件で、実際に泊まりに来た人へのフォローはどうなっ

ているのか。例えば、地域の人から「酒田はこういった所ですよ」とかの情報や地域のイベントを案内する等どうやって対応しているのか。

○池田主幹 詳しくはわからないが、実際そういった申込みがあった際に、当方の担当者と事前に相談をさせていただいて、「地域にこういったイベントがある」等、事前に情報を紹介して、希望があれば参加できるような日程作り等を行っている。

○池田議長 他にありませんか。ないようですので、これで第3回目の地域協議会の審議を終わらせていただきます。縮めのあいさつを高橋副会長お願いします。

7 閉会

○高橋副会長 皆さん、ご苦勞様でした。これを持ちまして、第3回目の地域協議会を閉会いたします。

以上